

脊髄周囲に肉芽腫性炎症が認められたミニチュアダックスフントの 3 症例

西田英高、田中宏、北村雅彦、栗山麻奈美、越智すなお、中山正成
中山獣医科病院・奈良県

【はじめに】

近年、肉芽腫性炎症に遭遇する機会が増加しているが、その発生原因は現在のところ不明である。発生部位は皮下組織に多く認められるが、腹腔内の脂肪における発生の報告もある。また、ダックスフント、プードル、ビーグルなどが好発犬種であると考えられており、日本においてはミニチュアダックスフントでの皮下組織の発症が多く認められている。今回、背部痛や後肢の麻痺を主訴として来院したミニチュアダックスフント 3 症例において、手術および病理組織学的検査により脊髄周囲の肉芽腫性炎症と診断したので報告する。

【症 例】

症例 1: 避妊済み、3 歳齢のミニチュアダックスフントで背部痛、後肢の運動失調を主訴に来院した。他院にて非ステロイド性抗炎症剤の投与による改善は認められなかった。

症例 2: 去勢済み、5 歳齢のミニチュアダックスフントで後肢の運動失調を主訴に来院した。プレドニゾロン投与による改善は認められず、深部痛覚の消失、後肢麻痺となった。既往歴として肩胛部に縫合糸による肉芽腫性炎症、皮下組織における肉芽腫性炎症および膵炎による総胆管閉塞が認められた。

症例 3: 避妊済み、4 歳齢のミニチュアダックスフントで後肢麻痺を主訴に来院した。他院における内科的治療に反応は認められなかった。

それぞれの症例は脊髄造影検査にて病変部を確認し、外科的アプローチをおこなった。同時に病変部の病理組織学的検査をおこなった。

【結 果】

症例 1: 脊髄造影検査により T10-11 の右腹外側から右側に硬膜外脊髄圧迫病変が認められた。T10-11 を右側より片側椎弓切除術をおこなったが、椎間板物質の逸脱は認められなかったため脊髄の減圧のみとした。術後 1 カ月目に背部痛が再発しプレドニゾロン投与により改善したが、漸減すると背部痛の再発が認められた。術後 3 カ月目に再度脊髄造影検査をおこない、L3-4 の左腹側から左側に硬膜外脊髄圧迫病変が認められた。L3-4 を左側より片側椎弓切除術をおこなったが、前回と同様に椎間板物質は認められず脊髄周囲組織に軽度の変性が認められた。脊髄周囲組織の病理組織学的検査の結果、無菌性の肉芽腫性炎症と診断された。術後 2 週間に

再発が認められ、プレドニゾロン投与により良好に経過している。

症例 2: 脊髄造影検査により T10-11 の右腹外側から右側に硬膜外脊髄圧迫病変が認められた。T10-11 を右側より片側椎弓切除術をおこなった結果、椎間板物質は認められず脊髄周囲組織の変性が認められた。脊髄周囲組織の病理組織学的検査の結果、無菌性の肉芽腫性炎症と診断された。術後運動機能の改善は認められなかった。

症例 3: 脊髄造影検査により T5 を中心に脊髄を取り囲むように硬膜外脊髄圧迫病変が認められた。T5-6 を左側より片側椎弓切除術をおこなった結果、脊髄を圧迫する腫瘍病変が認められ、病理組織学的検査において無菌性の肉芽腫性炎症と診断された。術後 1 日目より改善が認められ、良好に推移している。

【考 察】

全ての症例で去勢、避妊の手術歴があり、症例 2 では過去に縫合糸に対する反応が認められたことから、過去の手術が脊髄周囲の肉芽腫性炎症の発症に関与している可能性が考えられた。また病変部が腫瘍病変を形成せず変性を起こしている場合、病変部が確認できない可能性が考えられた。

【結 論】

今回の 3 症例により、肉芽腫性炎症は脊髄周囲においても発症することが確認された。炎症性肉芽腫は脊髄周囲の炎症および圧迫の程度により内科的治療による反応が乏しいことがあり、後肢麻痺になることがある。脊髄周囲での肉芽腫性炎症は他の脊髄疾患と同様の症状が認められることから、脊髄疾患の鑑別診断リストの 1 つとして考慮する必要がある。

| | 症例 1 | 症例 2 | 症例 3 |
|-----|--------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 年齢 | 3 歳 | 5 歳 | 4 歳 |
| 性別 | ♀ | ♂ | ♀ |
| 手術歴 | 避妊済(2 年前) | 去勢済(3 年前) | 避妊済(2 年前) |
| 現病歴 | 後肢のふらつき 背部痛 NSAIDs に反応なし | 後肢麻痺 深部痛覚(-) プレドニゾロンに反応なし | 後肢麻痺 深部痛覚(+) 内科的治療に反応なし |
| 術後 | 再発 プレドニゾロンにより良好 | 後肢麻痺 | 歩行可能 術後、再発なし |